

# N 8 1 0 3 - 6 4 ディスクアレイコントローラ ( A )

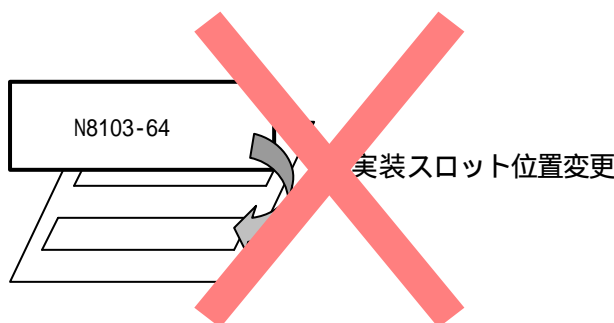
## ご使用時の注意事項

本ディスクアレイコントローラをご使用になる前に以下の内容をご確認ください。

### 1. 実装スロット位置変更の禁止について

Windows2000 の環境で、本ディスクアレイコントローラ以外に接続されているハードディスクにオペレーティングシステムをインストールした場合は、本ディスクアレイコントローラの実装スロット位置を変更しないでください。

本ディスクアレイコントローラの実装スロット位置を変更した場合、Express サーバがストールしたり、オペレーティングシステムのイベントビューアに S C S I タイムアウトが記録される場合があります。



もし誤って実装スロット位置を変更した場合、ドライバの更新画面が表示されますが、更新を行わず全ての要求をキャンセルしてください。その後、Express サーバのシャットダウンを行い、Express サーバの電源が O F F になった事を確認して、元の実装スロット位置へ戻してください。

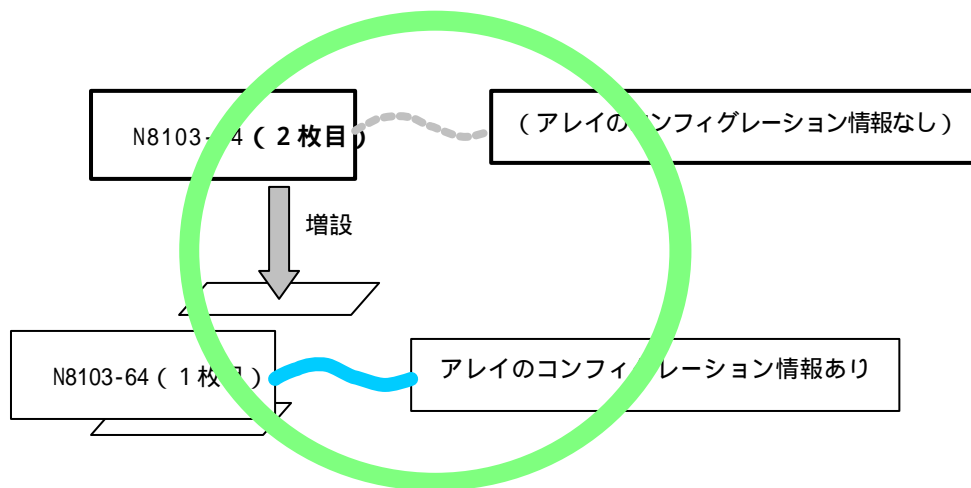
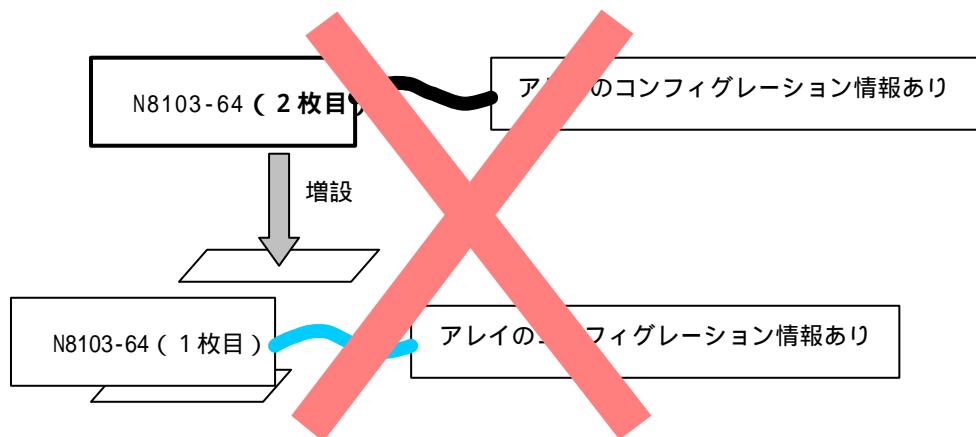
また、ドライバの更新画面が表示されず、新しいデバイスの検出画面が表示された状態でストールしたような場合は Express サーバのシャットダウンを行ってください。シャットダウンが行われない場合は、Express サーバの強制電源 O F F (電源 S W を 4 秒以上押下)を行ってください。

実装スロット位置の変更を行う場合は、オペレーティングシステム (Windows2000) の再インストールを行ってください。

## 2. 増設時の注意事項（ドライバのインストール後にアレシシステムの構築を行う）

Windows2000 の環境で、本ディスクアレイコントローラの増設を行う場合は、ドライバのインストールを行った後に、ハードディスクを接続し、アレシシステムの構築（ディスクアレイのコンフィグレーション情報の作成）を行ってください。

本ディスクアレイコントローラを増設時、ドライバのインストールの前にアレシシステムの構築（ディスクアレイのコンフィグレーション情報の作成）を行うと、Express サーバがストールしたり、オペレーティングシステムのイベントビューアに S C S I タイムアウトが記録される場合があります。



もし誤って、本ディスクアレイコントローラを増設して、アレイシステムの構築（ディスクアレイのコンフィグレーション情報の作成）を行った後に、オペレーティングシステムを起動した場合、**ドライバのインストール画面が表示されますが、インストールを行わず全ての要求をキャンセルしてください。**

その後 Express サーバを再起動して、POST 画面にて<CTRL>+<M>キーの入力を行い、MegaRAID<sup>®</sup> Configuration Utility を起動し、「ディスクアレイのコンフィグレーション情報のクリア」を行ってください。そして、オペレーティングシステムを起動し、**ドライバのインストールを行った後に、アレイシステムを構築（ディスクアレイのコンフィグレーション情報を作成）してください。**

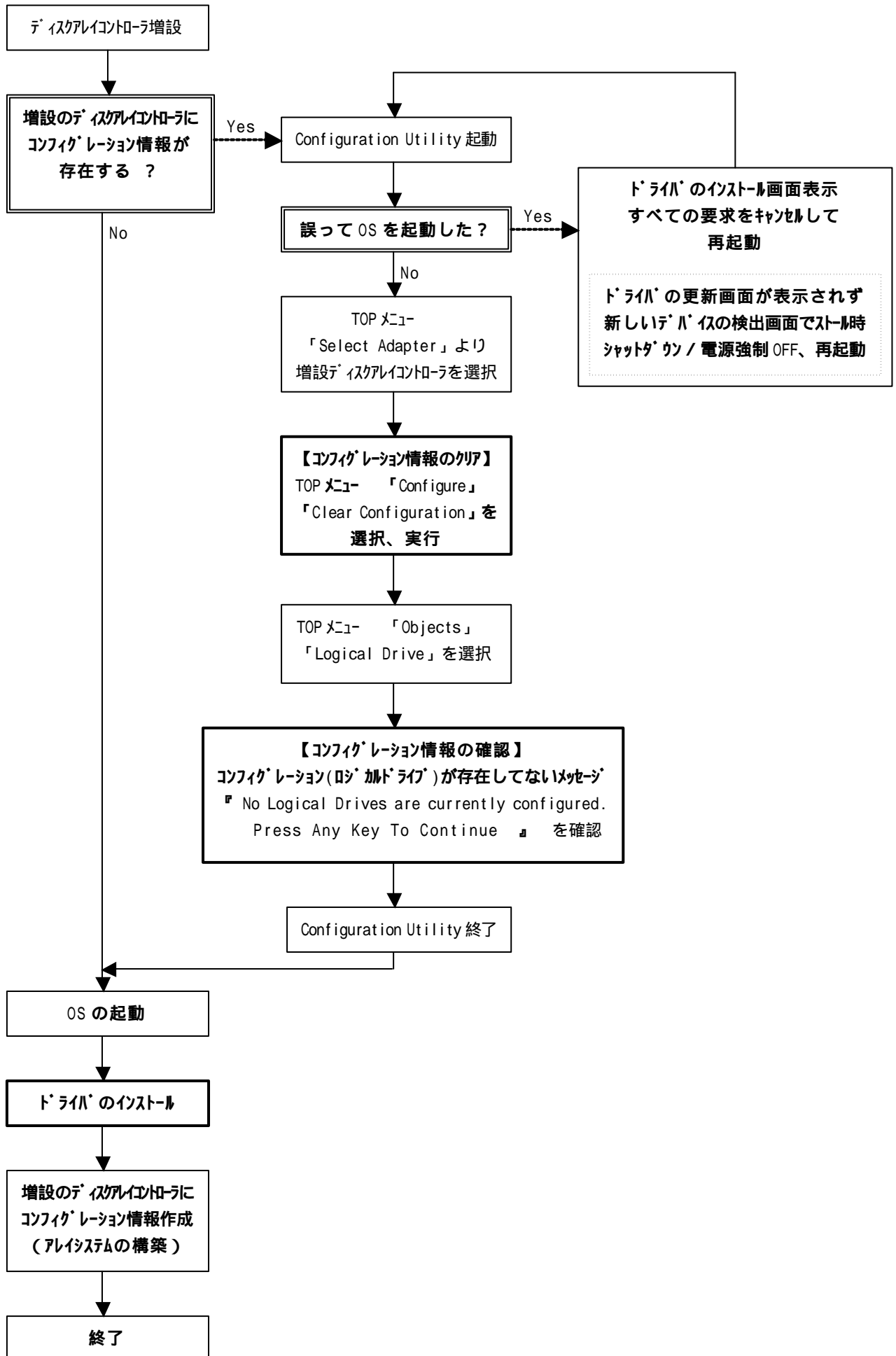
また、ドライバのインストール画面が表示されず、新しいデバイスの検出画面が表示された状態でストールしたような場合は Express サーバのシャットダウンを行ってください。シャットダウンが行われない場合は Express サーバの強制電源 OFF（電源 SW を 4 秒以上押下）を行い、Express サーバを再起動後、上記手順でディスクアレイのコンフィグレーション情報のクリアを行ってください。  
(4 頁の本ディスクアレイコントローラ増設時の手順を参照)

また、既に運用してるシステムからディスクアレイコントローラと接続のハードディスクの移動を行う場合は、移動前にハードディスク内のデータのバックアップを行い、その後、上記手順でディスクアレイのコンフィグレーション情報のクリアを行ってください。

ディスクアレイコントローラと接続のハードディスクの移動後に、ドライバのインストール、アレイシステムの構築（ディスクアレイのコンフィグレーション情報の作成）を行い、ハードディスクへデータのリストアを行ってください。

ディスクアレイのコンフィグレーション情報をクリアすると、ハードディスク内のデータにアクセスできなくなり、ハードディスク内のデータを消失する危険がありますので、必ずハードディスク内のデータのバックアップを行ってください。

# 本ディスクアレイコントローラ増設時の手順



### 3 . Power Console Plus について

Windows NT 4.0に Power Console Plus をインストールする場合、事前に Windows NT 4.0 の Service Pack 5 以降と Internet Explorer 4.01 Service Pack 2 以降および Windows Installer( )のインストールが必要です。(Windows95/98/Me に管理 PC をインストールする場合にも、Internet Explorer 4.01 Service Pack2 以降および Windows Installer( )のインストールが必要です。)

Windows Installer のインストールに関しては『Power Console Plus ユーザーズマニュアル』の7ページ「2 . サーバのセットアップ」「2.2 準備」、14ページ「3 . 管理 PC のセットアップ」「3.2 準備」を参照してください。